

SMAF SOUND DECORATOR

ユーザーズマニュアル

Ver.1.2.3

2007/11/30

ヤマハ株式会社

本書の著作権は、ヤマハ株式会社に属しています。
本書の内容の転載・一部複製には、ヤマハ株式会社の承諾が必要です。
また、本書の内容は予告なく変更される場合があります。



Copyright© 2003-2007 Yamaha Corporation
All rights reserved.

はじめに

SMAF Sound Decorator (以下 SSD)は、SMF(スタンダード MIDI ファイル)を Synthetic music Mobile Application Format(以下 SMAF)に変換するアプリケーションソフトウェアです。

MA-3/MA-5 コンテンツ用に 5 種類、MA-2 コンテンツ用に 5 種類、トータル 10 種類の「音色セット」がプリセットされており、楽曲の雰囲気にあった音色を選択することで、簡単に音質のよい SMAF ファイルに変換することができます。

推奨動作環境

本オーサリング・ツールの推奨動作環境は以下に示す通りです。

対応 OS	Microsoft® Windows® XP Microsoft® Windows® 2000	Microsoft® Windows® Vista
CPU/クロック	Pentium®、Celeron™、または互換 プロセッサ/ 800MHz 以上	Pentium®4 / 2.4GHz 相当以上
メモリー	128MB 以上	512MB 以上
必要なハードディスク空き容量	40MB 以上	

【Note】 本マニュアルで使用されているすべての製品名は、各社の商標および登録商標です。

目次

1. SSD をインストールする.....	5
2. SSD を使ってみよう.....	6
2.1. SSD の概要.....	6
2.2. SMAF ファイルを作成する.....	7
2.2.1. 出力フォーマットの選択.....	8
2.2.2. SMF の読み込み.....	8
2.2.3. 基本音色の選択.....	9
2.2.4. 再生.....	9
2.2.5. 音量調整.....	10
2.2.6. LED / VIB チャンネル設定.....	10
2.2.7. コピーステータスの設定.....	11
2.2.8. コンテンツ情報の設定.....	11
2.2.9. SMAF ファイルへ保存.....	12
3. リファレンス.....	13
3.1. 対応ファイルフォーマット.....	13
3.1.1. 入力フォーマット.....	13
3.1.2. 出力フォーマット.....	13
3.2. メニューバー.....	14
3.2.1. File.....	14
3.2.2. Option.....	14
3.2.3. Help.....	15
3.3. SMAF File Player.....	16
3.4. Copy Status.....	16
3.5. Contents Information.....	17
3.6. SELECT THE VOICE-SET.....	18
3.6.1. MA-3/MA-5 用音色セット.....	18
3.6.2. MA-2 用音色セット.....	18
3.7. MA-2 Voice Setting ダイアログ.....	19
3.8. Voice Assign Map.....	20
3.8.1. 個別音色選択.....	21
3.8.2. SMAF 変換時の Normal Channel/Drum Channel 判断方法.....	21
3.9. Mixer.....	22
3.10. メッセージボックス.....	23
3.11. Preference ダイアログ.....	23
4. メッセージ表示内容.....	24
4.1. 入力ファイル情報.....	24
4.2. 出力ファイル情報.....	24
4.3. アプリケーション状態.....	24
4.4. ワーニング情報.....	25
4.5. エラーメッセージ.....	26
4.6. 通知メッセージ.....	29
4.7. ショートカットキー.....	29

更新履歴

版	日付	内容
1.0.0	2003/12/05	初版
1.1.0	2004/1/23	SMAF/MA-2 に対応 再生時に SMAF ファイルを生成しないように修正
1.1.1	2004/5/20	2.2 出力フォーマットの選択 説明追加
1.2.0	2004/8/30	文章構成を変更 2.2 「SMAF ファイルを作成する」を新規追加 3.7 「MA-2 Voice Setting ダイアログ」を新規追加 3.11 「Preference ダイアログ」を新規追加 4.4 ワーニング情報の追加と削除 4.5 エラーメッセージの追加と削除 4.6 「通知メッセージ」を新規追加
1.2.1	2004/12/8	4.5 エラーメッセージの追加
1.2.2	2005/5/11	3.11 Preference ダイアログの記述を修正
1.2.3	2007/11/30	Windows Vista に対応 「推奨動作環境」の対応 OS に Microsoft® Windows® Vista を追加

1. SSD をインストールする

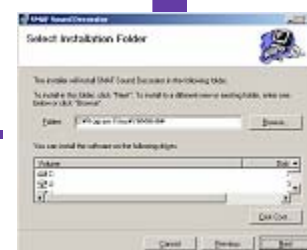
本章では、SSD をインストールする一連の作業を説明いたします。



1. Setup.exe をクリックし、セットアップウィザードを起動します。



2. インストールディレクトリを選択し、「Next」ボタンをクリックします。



3. インストール確認ダイアログが表示されます。
「Next」ボタンをクリックするとインストールが開始されます。



4. 正常に終了するとインストール終了画面が表示されます。
「Close」ボタンをクリックします。



5. デスクトップとスタートメニューに SSD のショートカットが作成されます。
ショートカットをクリックし、SSD を起動させます。



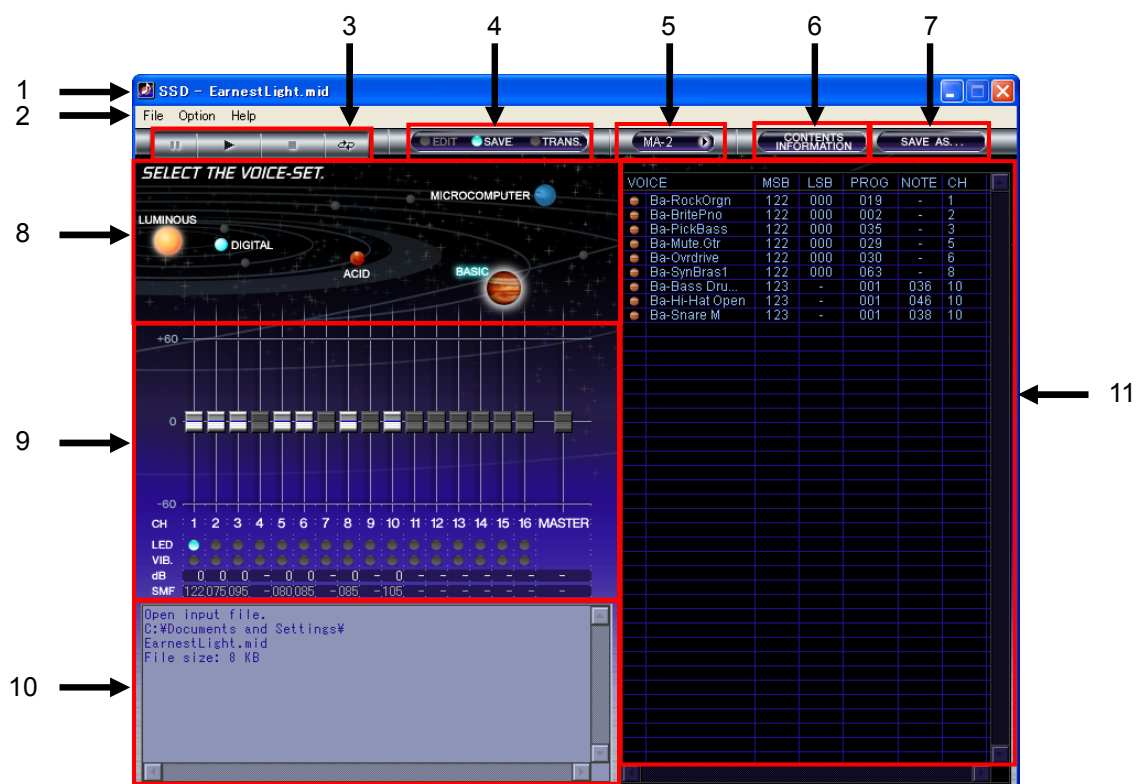
SMAF Sound Decorator

2. SSD を使ってみよう

本章では、SSD を使って SMF を読み込み SMAF ファイルとして保存するまでの一連の操作を説明します。

2.1. SSD の概要

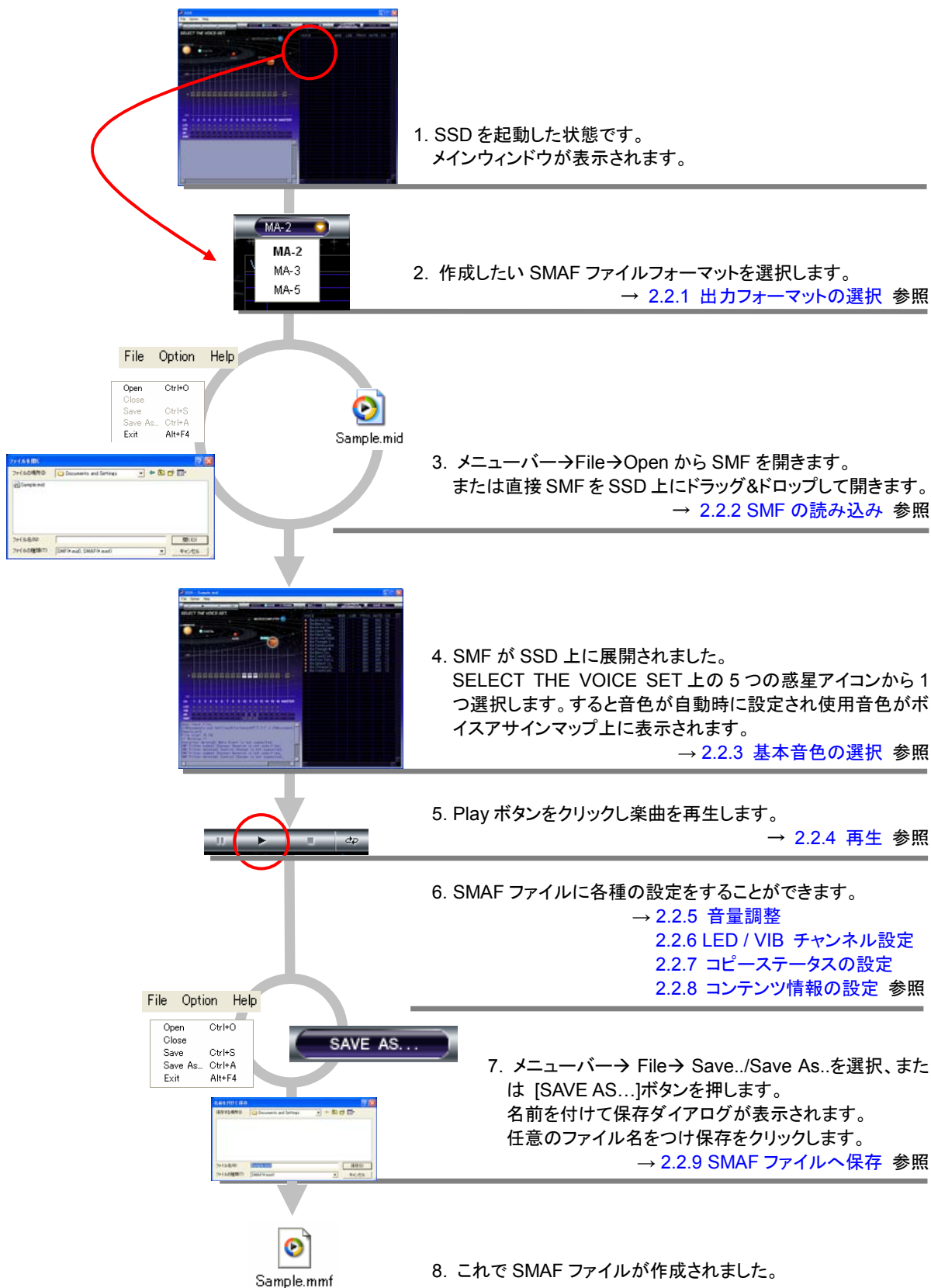
SSD のメインウインドウです。ほとんどの作業がこのウインドウで行えるように設計されています。



No.	名称	機能
1	タイトルバー	読み込んでいる SMF, SMAF ファイル名を表示します。
2	メニューバー	File メニュー、Option メニュー、Help メニューを開くことができます。
3	SMAF ファイルプレイヤー	再生、停止、リピートなどをコントロールできます。
4	コピーステータス	SMAF ファイルのコピーステータスを設定します。
5	出力フォーマット選択	SMAF ファイルの出力フォーマットを選択します。
6	CONTENTS INFOMRATION	SMAF ファイルのコンテンツ情報を設定します。 ボタンをクリックすると、Contents Information ダイアログを表示します。
7	SAVE AS...	SMAF ファイル(.mmf)に保存します。
8	SELECT THE VOICE-SET.	プリセットされている音色セットを選択します。
9	ミキサー	音量バランスの調整と、LED/VIB、チャンネルの設定ができます。
10	メッセージボックス	アプリケーションの状態、入出力ファイル情報、エラー情報を表示します。
11	ボイスアサインマップ	SMAF ファイルにアサインされている音色の一覧が表示されます。

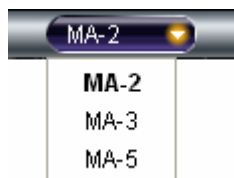
2.2. SMAF ファイルを作成する

本章では SMF を SSD ツール上に展開し SMAF ファイルとして保存するまでの一連の作業を説明します。



2.2.1. 出力フォーマットの選択

出力する SMAF ファイルの対応フォーマットを設定します。
同時発音数と対応するフォーマットにあわせてモードを選択します。



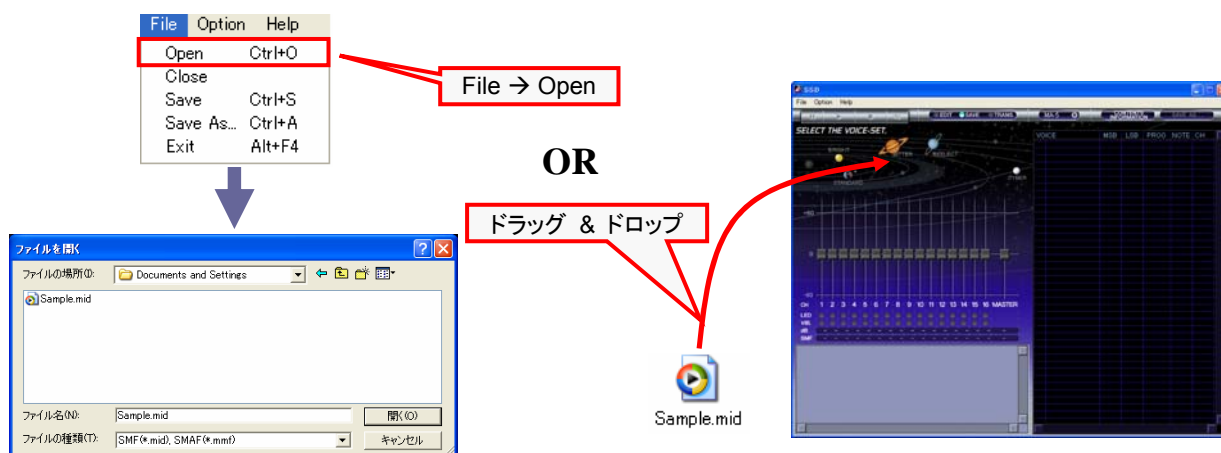
【Note】 出力フォーマットは、対象とする携帯端末の音源チップにあわせて選択してください。

【Note】 それぞれのモードの詳細については、「3.1 対応ファイルフォーマット」を参照してください。

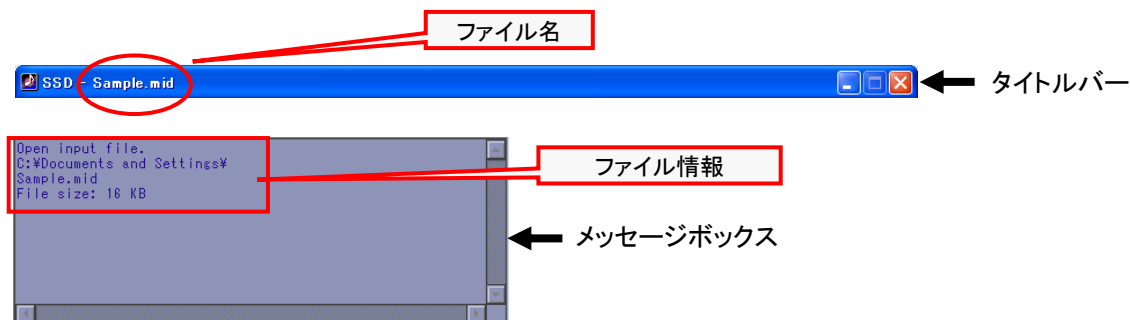
2.2.2. SMF の読み込み

SMF を SSD ツールに読み込む手順を記述します。

1. SMF をファイルメニューの Open から、もしくはメインウィンドウ上に SMF をドラッグ & ドロップして開きます。



2. SMF の読み込みが成功するとメッセージボックスに、ファイル情報(ファイルパス、サイズ等)が表示されタイトルバーに SMF のファイル名が表示されます。



2.2.3. 基本音色の選択

SELECT THE VOICE-SET の惑星アイコンをクリックします。

クリックした惑星アイコンがハイライト表示され、すべての音色が選択した音色セットでアサインされます。ボイスアサインマップに使用している音色を一覧表示します。



【Note】ここでは、SMAF ファイル音色の基本となる音色選択方法のみを説明します。

個別音色設定は、「3.8.1 個別音色選択」を参照してください。

【Note】MA-2 モードの場合、読み込まれた SMF の条件によって MA-2 Voice Setting ダイアログが起動します。使用したい音色を選択して OK ボタンを押してください。

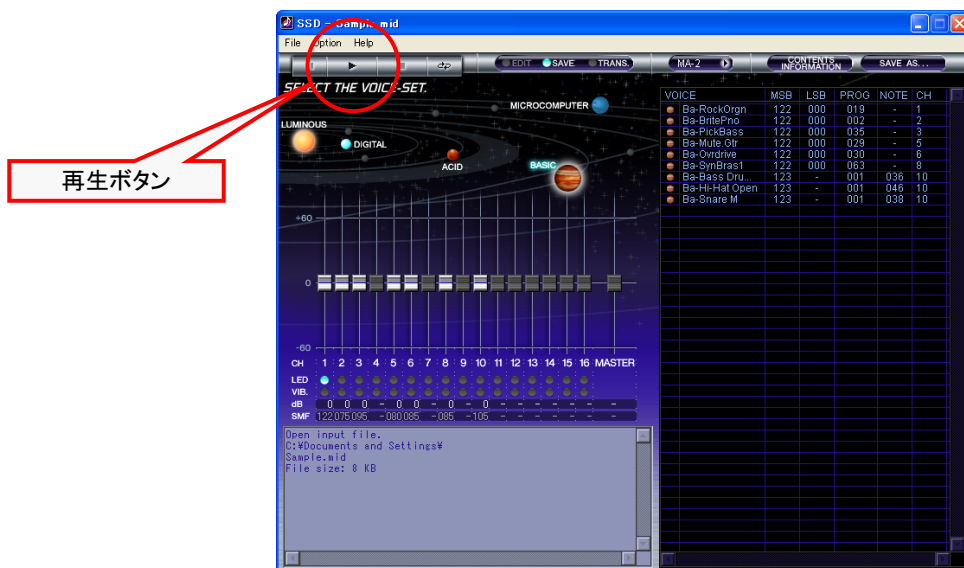
詳しくは、「3.7 MA-2 Voice Setting ダイアログ」を参照してください。

2.2.4. 再生

音色がアサインされると、SMAF ファイルプレイヤーが有効になります。

再生して SMAF 変換結果の音色を確認します。

別の音色で確認する場合は、停止ボタンを押してから別の音色を選択してください。



【Note】SMAF ファイル再生中は、音色セットの変更、コピーステータス設定などの操作はできません。

2.2.5. 音量調整

マスターボリューム、それぞれのチャンネルボリュームの調整を行います。

再生結果をもとに、各チャンネルのバランスの調整を行います。

SMF 欄には、SMF で設定したマスターボリューム、チャンネルボリュームを表示します。

その相対値で dB 値を調整します。

The screenshot shows the SSD - Sample.mid application window. The 'SELECT THE VOICE-SET' section is active, displaying a list of voices and their parameters. The 'VOICE' list includes items like 'Ba-RockOrgn', 'Ba-BrftPno', etc. The 'MIXER' section shows a frequency response graph and a list of channels (CH 1 to 16) with their respective volume levels. A red box highlights the 'MIXER' section, with a callout pointing to it labeled 'ミキサー'. Another red box highlights the 'SMF' section, which displays volume values for each channel and the master volume. A callout points to this section with the text: 'SMF で設定されているチャンネルボリューム、マスターボリュームを表示します。'.

【Note】 有効なチャンネルのスライダーのみが設定対象になります。

2.2.6. LED / VIB チャンネル設定

楽曲にあわせて、携帯端末の LED が点滅する LED チャンネルと携帯端末が振動する VIB チャンネルを指定します。ノートにあわせて点滅させたいチャンネルの LED インジケータ、ノートにあわせて振動させたいチャンネルの VIB. インジケータをクリックしてください。

The screenshot shows the SSD - Sample.mid application window. The 'SELECT THE VOICE-SET' section is active, displaying a list of voices and their parameters. The 'LED/VIB' section shows a list of channels (CH 1 to 5) with their respective LED and VIB indicators. A red box highlights the 'LED/VIB' section, with a callout pointing to it labeled 'LED/VIB チャンネル'. Another red box highlights the 'LED/VIB' indicators for channels 1 to 5, with a callout pointing to it with the text: 'チャンネルごとの、インジケータを ON/OFF することで、そのチャンネルに LED/VIB に同期させることができます。'.

LED/VIB.設定が有効になっているチャンネルは、インジケータが点灯しています。

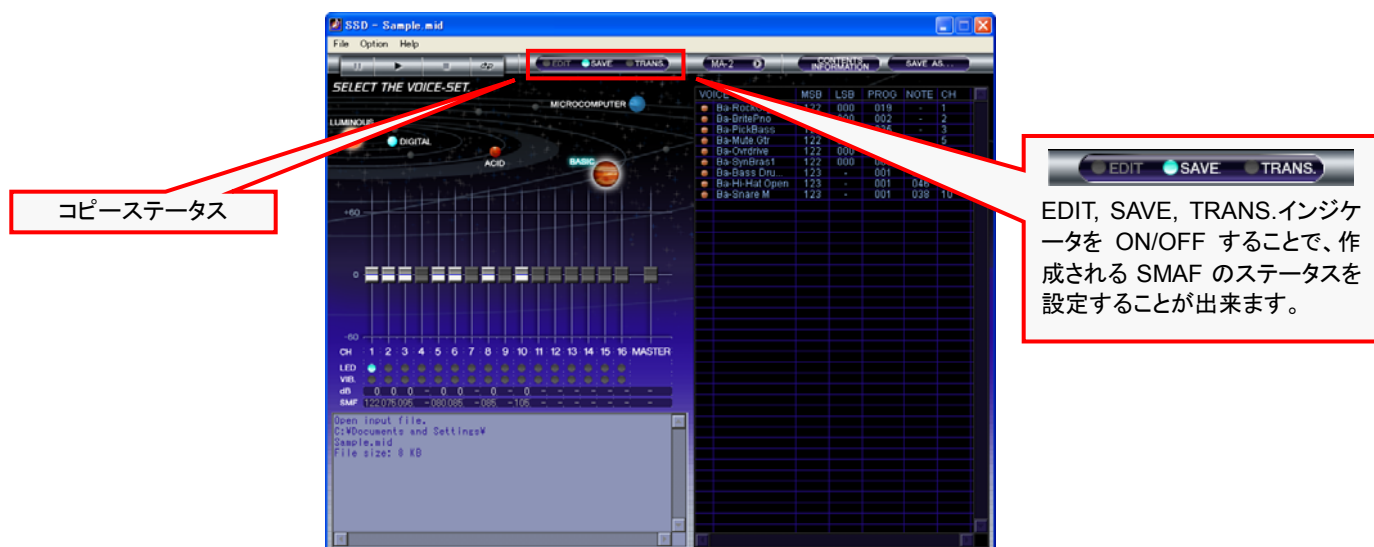
【Note】 読み込む SMF にメタイベントによる LED チャンネル指定がない場合、Note 番号を含む一番若いチャンネルに LED の同期情報が付加されます。

(詳しくは、「SMAF Sound Decorator コンテンツ制作ガイドライン」をご参照ください。)

【Note】 点滅/振動動作は、実際に端末にダウンロードして確認する必要があります。

2.2.7. コピーステータスの設定

SMAF ファイルのコピーステータスを設定します。

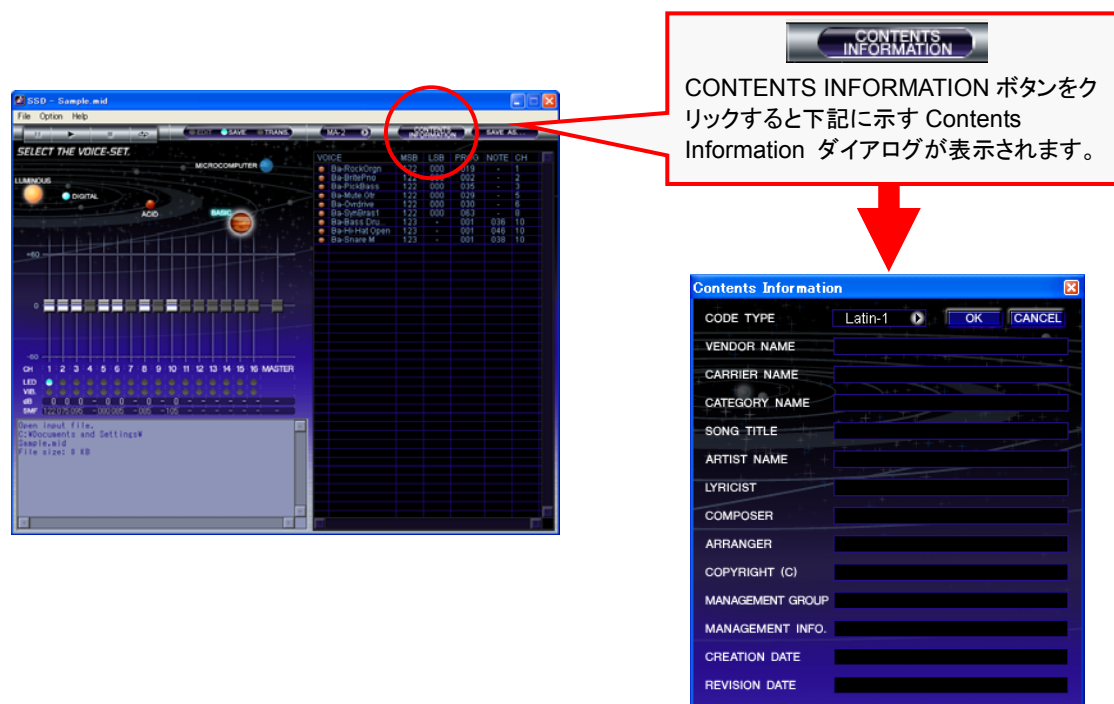


設定したいステータスのインジケータをクリックします。

EDIT/SAVE/TRANS.の各インジケータが点灯しているステータスが有効設定となります。

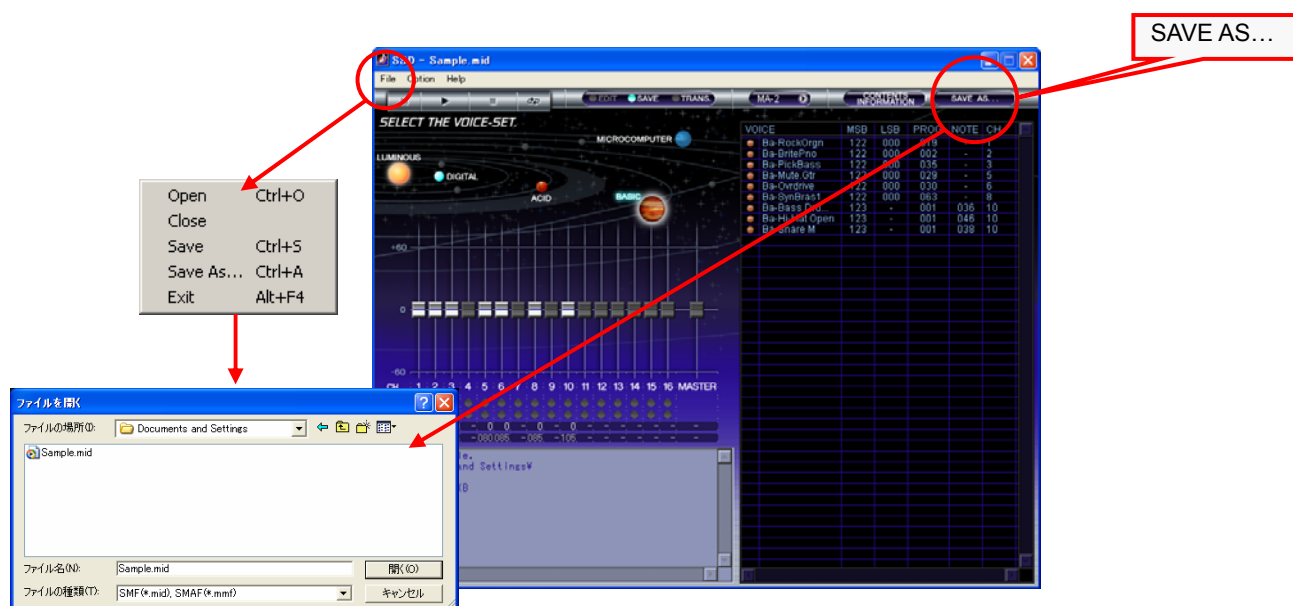
2.2.8. コンテンツ情報の設定

CONTENTS INFORMATION ボタンをクリックすると、Contents information ダイアログが表示されます。SMAF ファイルに「曲名」「アーティスト名」「作成日」などのコンテンツ情報を設定できます。

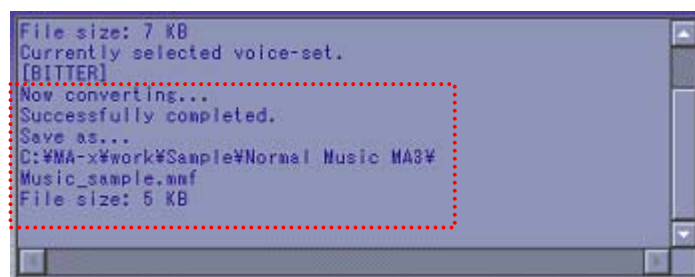


2.2.9. SMAF ファイルへ保存

SAVE AS...ボタンか、ファイルメニューの Save As... をクリックし、SMAF ファイルへ名前をつけて保存します。



SMAF ファイルの保存が正常に行われた場合、メッセージボックスウインドウに出力ファイル名とサイズが表示されます。



3. リファレンス

3.1. 対応ファイルフォーマット

SSD で対応しているファイルフォーマットです。

3.1.1. 入力フォーマット

SMF Format 0 ・ SMF Format 1 ・ SMAF/MA-1 ・ SMAF/MA-2 ・ SMAF/MA-3 ・ SMAF/MA-5

【Note】 SMAF/MA- * が入力された場合、SMAF ファイルプレイヤーでの再生のみ対応します。

3.1.2. 出力フォーマット

出力フォーマットは、メインウィンドウの出力フォーマットボタンで選択します。

SMAF/MA-2			
FM 音源	PCM 音源	合計	Contents Class
2OP:16	—	16	0x00

SMAF/MA-3			
FM 音源	PCM 音源	合計	Contents Class
4OP:16	8	24	0x00

SMAF/MA-5			
FM 音源	PCM 音源	合計	Contents Class
4OP:16	16	32	0x00

3.2. メニューバー

メニューバーの機能について説明します。

3.2.1. File



No.	名称	内容
1	Open (Ctrl+O)	SSD にファイルを読み込みます。対応しているファイルフォーマットは “3.1.1 入力フォーマット” を参照ください。
2	Close	読み込んだファイルを閉じて、メインウィンドウを起動状態に戻します。
3	Save.. (Ctrl+S)	SMAF ファイルの上書き保存を行います。
4	Save As.. (Ctrl+A)	“名前をつけて保存”ダイアログを開きます。名前を付けて SMAF ファイルを保存します。
5	Exit (Alt+F4)	アプリケーションを終了します。

3.2.2. Option



No.	名称	内容
1	Preference	Preference ダイアログを表示します。
2	SMF Filter	「SMAF Sound Decorator コンテンツ制作ガイドライン MA-2 版」に準拠していない SMAF ファイルを自動調整します。 ・SMF Filter ON → 自動調整を有効にします。 ・SMF Filter OFF → 自動調整を無効にします。 MA-2 Voice Setting ダイアログを使用する場合、SMF Filter ON に設定してください。 MA-2 モードの時のみ表示されます。
3	MA-2 Voice Setting	MA-2 Voice Setting ダイアログを表示します。 MA-2 モードで SMF Filter が ON の時のみ有効です。

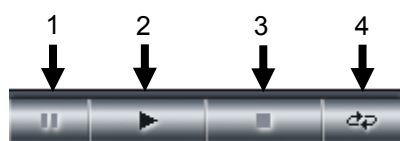
【Note】 SMF Filter の設定は、SMF ファイルをオープンする前に行ってください。

3.2.3. Help

1 → About

No.	名称	内容
1	About	<p>“About ダイアログ”を開きます。 SSD のバージョン情報が確認できます。 ダイアログ内下部のリンクより SMAF GLOBAL のウェブサイトを開きます。</p> 

3.3. SMAF File Player



No.	名称	内容
1	一時停止ボタン	楽曲再生中にクリックすると再生を一時停止します。再度クリックすると現在位置から演奏を再開します。
2	再生ボタン	楽曲を再生します。
3	停止ボタン	クリックすると楽曲の再生を停止し、曲の先頭に戻ります。
4	リピートボタン	リピート再生モードになります。

3.4. Copy Status

コピーステータスを設定します。SMFを読み込んだときのみ設定可能です。

下図の設定では、携帯端末への保存のみ可能(編集不可、転送不可)の設定になります。



No.	名称	Pic	内容
1	EDIT		携帯端末での SMAF ファイル編集の許可設定を行います。
			携帯端末での SMAF ファイル編集可
			携帯端末での SMAF ファイル編集不可
2	SAVE		携帯端末への SMAF ファイル保存許可設定を行います。
			携帯端末での SMAF ファイル保存可
			携帯端末での SMAF ファイル保存不可
3	TRANS.		携帯端末からの SMAF ファイル転送許可設定を行います。
			携帯端末からの SMAF ファイル転送可
			携帯端末からの SMAF ファイル転送不可

【Note】 SMAF ファイルを読み込んだ時はコントロールの表示/操作は無効です。

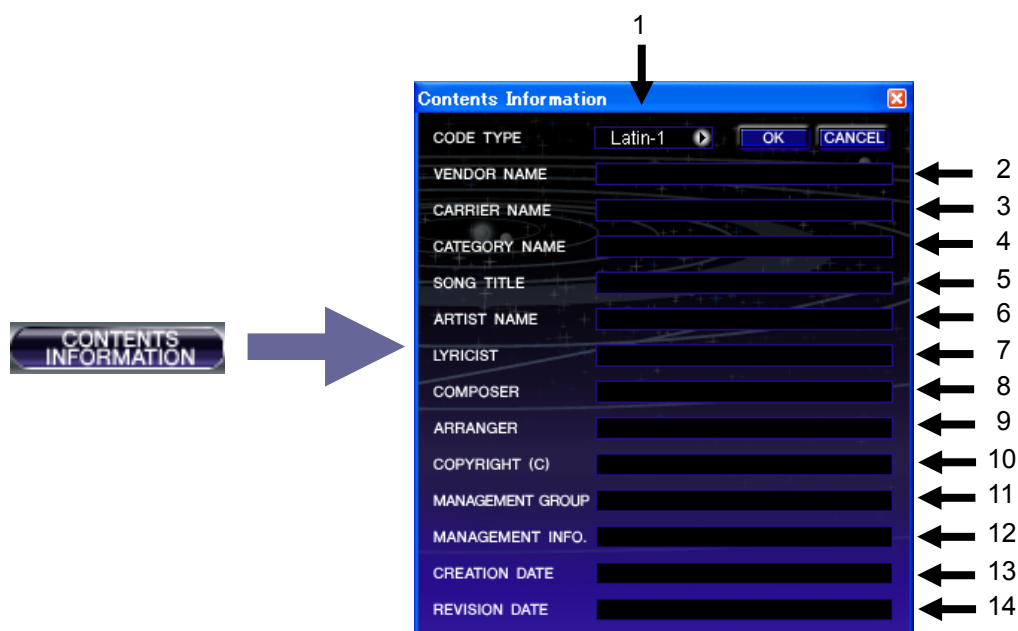
【Note】 出力フォーマットが MA-2 の場合は EDIT の表示/操作は無効です。

【Note】 出力フォーマットが MA-2 の場合は保存可にした場合のみ転送可に設定できます。

3.5. Contents Information

SMAF ファイルにコンテンツ情報を設定します。

SMF を読み込んだときのみ Contents Information ウィンドウを開くことができます。



No.	名称	内容
1	CODE TYPE	コンテンツ情報を書き込む文字コードを設定します。
2	VENDOR NAME	ベンダー名を入力します。
3	CARRER NAME	キャリア名を入力します。
4	CATEGORY NAME	曲のカテゴリ名を入力します。
5	SONG TITLE	曲のタイトルを入力します。
6	ARTIST NAME	アーティスト名を入力します。
7	LYRICIST	作詞者名を入力することができます。
8	COMPOSER	作曲者名を入力することができます。
9	ARRANGER	編曲者名を入力することができます。
10	COPYRIGHT (C)	コピーライトを入力することができます。
11	MANAGEMENT GROUP	管理団体名を入力することができます。
12	MANAGEMENT INFO.	管理情報を入力することができます。
13	CREATION DATE	作成日時を入力することができます。
14	REVISION DATE	更新日時を入力することができます。

【Note】 読み込んだ SMF にメタイベントによる曲名、作詞者、作曲者、編曲者、演奏者、歌唱者、著作権表示があった場合、Contents Information ダイアログに情報が設定されます。
詳しくは、「SMAF Sound Decorator コンテンツ制作ガイドライン」を参照下さい。

3.6. SELECT THE VOICE-SET

SMAF ファイルに設定する音色セットを選択します。






惑星アイコンをクリックすることで、すべての音色が選択した音色セットに切り替わります。

【Note】 Voice Assign Map で個別に音色を切り替えている場合も、すべての音色が切り替わってしまうため注意が必要です。

【Note】 SMAF ファイルを読み込んだ時は、コントロールの表示/操作は無効です。






3.6.1. MA-3/MA-5 用音色セット



ICON	名称	内容
	STANDATRD	一般的な GM 音色(FM-4OP / PCM)です。 音色の基本となるスタンダードセットです。
	BRIGHT	明るめで、元気のいい音色(FM-4OP / PCM)です。
	BITTER	渋めの音色セット(FM-4OP / PCM)です。
	REFLECT	リバーブがかかったような反響音の特徴の音色セット(FM-4OP / PCM)です。
	CYBER	サイバーな雰囲気 of 音色セット(FM-4OP / PCM)です。

3.6.2. MA-2 用音色セット



ICON	名称	内容
	BASIC	一般的な GM 音色(FM-2OP)です。 音色の基本となるスタンダードセットです。
	LUMINOUS	明るめで、元気のいい音色(FM-2OP)です。
	ACID	渋めの音色セット(FM-2OP)です。
	MICROCOMPUTER	昔のコンピュータライクな音色セット(FM-2OP)です。
	DIGITAL	サイバーな雰囲気 of 音色セット(FM-2OP)です。

3.7. MA-2 Voice Setting ダイアログ

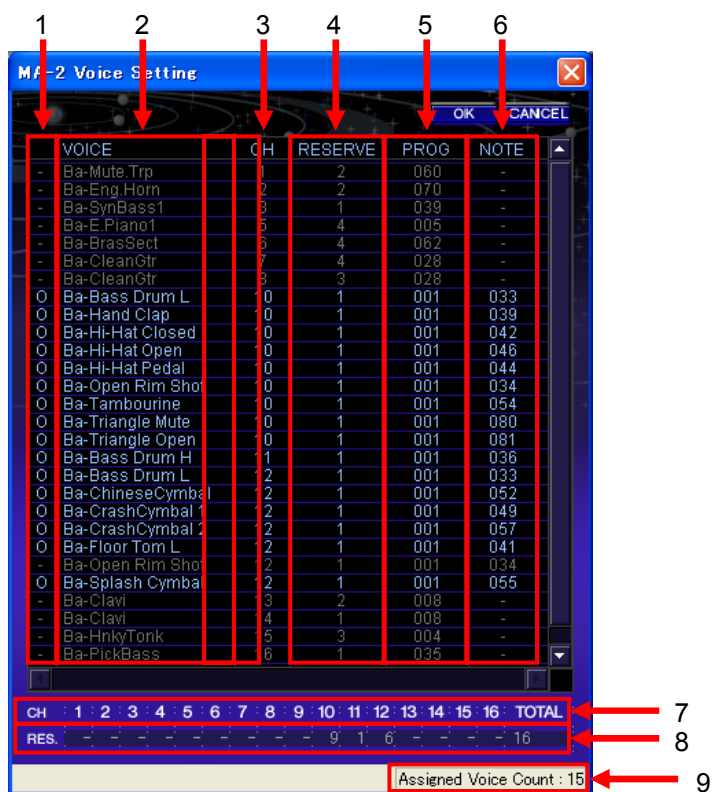
SMAF/MA-2 に変換する時に有効な音色を選択する為のダイアログです。
SMAF/MA-2 がご希望の曲データになるように使用する音色を選択してください。

MA-2 Voice Setting ダイアログが自動的に起動する条件

以下に記述する 3 つの条件がそろった時のみ、MA-2 Voice Setting ダイアログが自動的に起動します。

- MA-2 モードが選択されている。
- SMF Filter ON に設定されている。
- 読み込んだ SMF で使用されている音色数が 17 音色以上、または Channel Reserve 数の合計が 17 以上である。

【Note】 音色セットが最初に選択された時のみ MA-2 Voice Setting は自動的に起動します。



No.	名称	内容
1	O/ー (ON/OFF)	ダブルクリックで音色の有効(O)、無効(ー)を設定できます。
2	Voice	音色名を表示します。
3	CH	Channel 番号を表示します。
4	RESERVE	Channel Reserve 数を表示します。変換時、各チャンネルに確保される Channel Reserve 数(MA-2 のチャンネル数、最大同時発音数に相当)を表示します。
5	PROG	Program Change 番号を表示します。
6	NOTE	ドラム音色の場合、Note 番号を表示します。
7	CH	1～16 の Channel 番号を示します。
8	RES.	Reserve されている音色の Channel 番号とその合計数を表示します。
9	Assigned Voice Count	選択されている音色の合計を表示します。

【Note】 MA-2 モードで SMF Filter ON に設定されている場合、オプションメニューの MA-2 Voice Setting から起動できます。

3.8. Voice Assign Map

現在アサインされている音色の一覧、バンク情報を見ることができます。

	1	2	3	4	5	6
	↓	↓	↓	↓	↓	↓
VOICE	MSB	LSB	PROG	NOTE	CH	
● Ac-RockOrgn	122	000	019	-	1	
● Lu-BritePno	122	000	002	-	2	
● Ac-PickBass	122	000	035	-	3	
● Mi-Mute.Gtr	122	000	029	-	5	
● Mi-Ovrdrive	122	000	030	-	6	
● Lu-SynBras1	122	000	063	-	8	
● Lu-Bass Dru...	123	-	001	036	10	
● Di-Hi-Hat Open	123	-	001	046	10	
● Di-Snare M	123	-	001	038	10	

【Note】 SMAF ファイルを読み込んだ時は、コントロールの表示/操作は無効です。

No.	名称	内容
1	VOICE	現在選択されている音色名が一覧表示されます。 どの音色セットの音色かは惑星アイコンで判断できます。
2	MSB	Bank Select MSB を表示します。SMAF 変換時に自動変換します。 出力フォーマットが MA-3/MA-5 の場合 Normal Channel Drum Channel 124 125 出力フォーマットが MA-2 の場合 Normal Channel Drum Channel 122 123
3	LSB	Bank Select LSB を表示します。SMAF 変換時に自動変換します。 Normal Channel Drum Channel 000 -
4	PROG	Program Change 番号を表示します。 Normal Channel Drum Channel 001~128 001
5	NOTE	Note 番号を表示します。 Normal Channel Drum Channel - 024~084
6	CH	SMF Channel を表示します。

3.8.1. 個別音色選択

個別の VOICE の音色を変更するには、VOICE を左クリックすると、音色リストの中から同じ BankMSB/BankLSB(ドラム音色の場合は Program Change)を持つ音色がポップアップ表示されます。ポップアップウインドウの惑星アイコンを選択して、個別 VOICE の音色選択を行うことができます。



【Note】 音色セットの一覧は、「SMAF Sound Decorator コンテンツ制作ガイドライン」をご参照ください。

3.8.2. SMAF 変換時の Normal Channel/Drum Channel 判断方法

■ 出力フォーマットが MA-3/MA-5 の場合

MSB	LSB											
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11~127
0~121, 126, 127, 未指定	10ch 以外は MSB: 124, LSB: 0 に置換 10ch は MSB: 125, LSB: 0, Program Change: 0 に置換											
122, 124 (ノーマル)	LSB: 0 に置換											
123, 125 (ドラム)	LSB: 0, Program Change: 0 に置換											

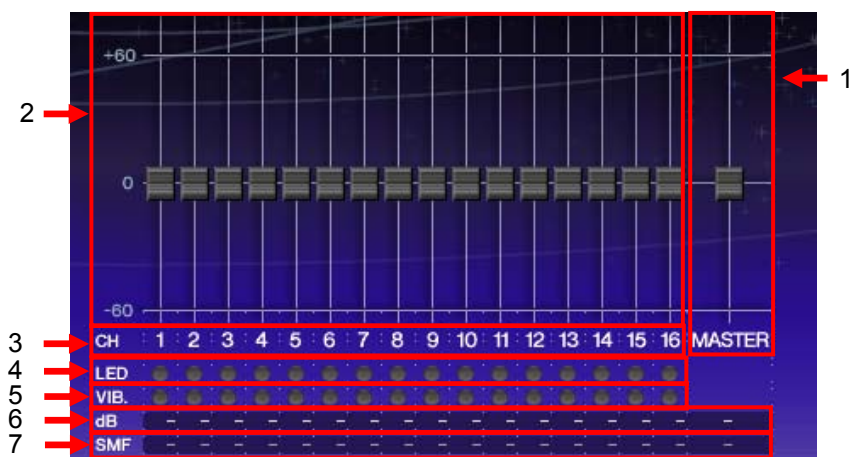
■ 出力フォーマットが MA-2 の場合

MSB	LSB											
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11~127
0~121, 126, 127, 未指定	10ch 以外は MSB: 122, LSB: 0 に置換 10ch は MSB: 123, LSB: 0, Program Change: 0 に置換											
122, 124 (ノーマル)	LSB: 0 に置換											
123, 125 (ドラム)	LSB: 0, Program Change: 0 に置換											

【Note】 詳しくは、「SMAF Sound Decorator コンテンツ制作ガイドライン」をご参照ください。

3.9. Mixer

ボリューム調整、LED、VIB チャンネルの設定を行います。



No.	名称	内容
1	Master Volume Slider	SMF のマスターボリュームをデフォルト表示します。 マウスのドラッグ、トラックボールの上下、キーボードの上下キーに対応しています。+60dB ~ -60dB の範囲で調整します。
2	Channel Volume Slider	SMF のチャンネルボリュームをデフォルト表示します。各チャンネルの音量バランスを調整します。 マウスのドラッグ、トラックボールの上下、キーボードの上下キーに対応しています。+60dB ~ -60dB の範囲で調整します。
3	CH	ボリュームスライダー、LED インジケータ、などのコントロールのチャンネル番号を表示します。
4	LED	LED のノート同期点灯設定をします。 MA-3/MA-5 ではチャンネルごとに ON/OFF を設定できます。MA-2 ではひとつのチャンネルのみ ON に設定できます。 <div>LED <input checked="" type="checkbox"/> LED ノート同期点灯 ON</div> <div>LED <input type="checkbox"/> LED ノート同期点灯 OFF</div>
5	VIB.	VIB. のノート同期振動設定をします。 MA-3/MA-5 ではチャンネルごとに ON/OFF を設定できます。MA-2 ではひとつのチャンネルのみ ON に設定できます。 <div>VIB. <input checked="" type="checkbox"/> VIB. ノート同期振動 ON</div> <div>VIB. <input type="checkbox"/> VIB. ノート同期振動 OFF</div>
6	dB	音量コントロールスライダーで設定された dB 値を表示します。音量は 0SMF に対して相対値での設定になります。+60dB~-60dB の範囲で直接入力も可能です。 【Note】 MA-2 の場合、マスターボリュームの変更は無効です。
7	SMF	SMF で設定されているボリューム値を表示します。dB 値と同期表示を更新します。絶対値での表示になります。

【Note】 SMAF ファイルを読み込んだ時は、コントロールの表示/操作は無効です。

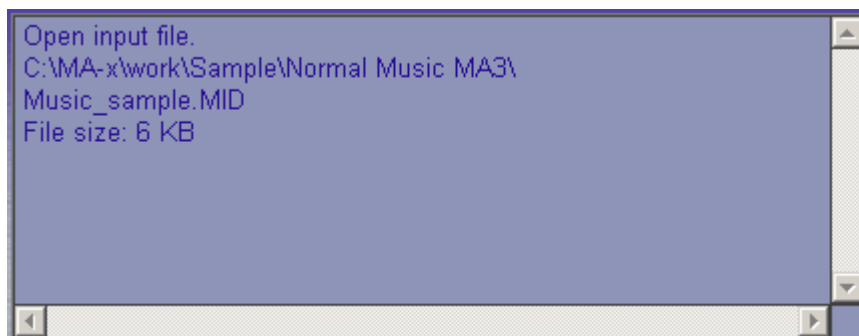
【Note】 読み込む SMF にメタイベントによる LED チャンネル指定がない場合、Note 番号を含む一番若いチャンネルに LED の同期情報が付加されます。

(詳しくは、「SMAF Sound Decorator コンテンツ制作ガイドライン」をご参照ください。)

3.10. メッセージボックス

アプリケーションの状態、入出力ファイル情報、エラー情報などを表示します。

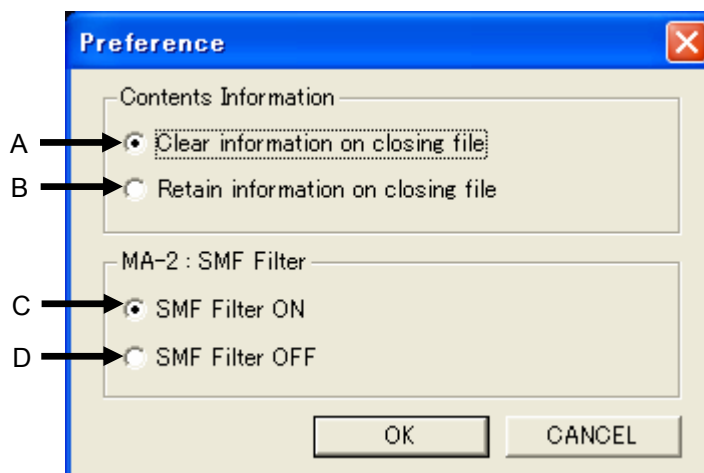
エラー情報とワーニング情報はそれぞれ最大 10 件まで表示されます。それぞれ 11 件目以降の情報は表示されません。



表示内容の一覧です。数字、ファイル名などは一例です。適宜読み替えてください。

3.11. Preference ダイアログ

Option メニューの Preference から起動します。



No.	名称	内容	
1	Contents Information	A	ファイルを閉じる時に、Contents Information 上に入力されたコンテンツ情報を初期の状態(空欄)にします。CODE TYPE の設定は変更されません。
		B	入力されたコンテンツ情報を保持します。 アプリケーションを閉じると初期の状態(空欄)になります。 CODE TYPE の設定は変更されません。
2	MA-2:SMF Filter	C	SMF Filter を有効にする。(MA-2 モードでのみ設定可能)
		D	SMF Filter を無効にする。(MA-2 モードでのみ設定可能)

4. メッセージ表示内容

メッセージボックス、またはダイアログボックスに以下のメッセージが表示されます。
各メッセージの表示方法は、表示欄に記号で示してあります。

- → 表示する
- → 表示しない

4.1. 入力ファイル情報

画面表示	内容	メッセージ ボックス	ダイアログ ボックス
Open input file. <Directory....> Music Sample.MID File size:6KB	ファイルメニューの Open、ドラッグアンドドロップで SMF が指定された場合	○	—
Open input file. <Directory> Music Sample.mmf File size:5KB File format: SMAF/MA-3	ファイルメニューの Open、ドラッグアンドドロップで SMAF ファイルが指定された場合	○	—

4.2. 出力ファイル情報

画面表示	内容	メッセージ ボックス	ダイアログ ボックス
Now converting... Successfully completed. Saved As... <Directory....> Music Sample.mmf File size:5KB	Save As...押下時の SMF to SMAF 変換	○	—
Now Playing... Total time:00:16	SMAF ファイルを再生する場合	○	—

4.3. アプリケーション状態

画面表示	内容	メッセージ ボックス	ダイアログ ボックス
Automatically converted SMF format1 to SMF format 0.	SMF Format 1 to SMF Format 0 変換を行った場合	○	—
Currently selected sound set: [BITTER]	変換時に選択されている音色セットを表示する場合	○	—
Now converting... Successfully completed.	SMAF 変換成功の場合	○	—

4.4. ワーニング情報

No.	画面表示	内容	メッセージ ボックス	ダイアログ ボックス
1	Save the changed data?	ファイルを閉じるときに SMAF ファイルが保存されていない場合に表示されます。「はい」を選択すると名前をつけて保存ダイアログが開きます。	—	○
2	Overlapping notes were tied Automatically.	同チャンネル同ノートの重なりに対して、タイ処理を行いました。	○	—
3	More than one note message found on the same duration in a mono mode channel. Only the last note message will be accepted.	モノ・モード指定チャンネルで同タイミングに複数のノートメッセージが存在します。ノートメッセージは最終のものだけが出力されます。	○	—
4	SMF Filter modified: Gate Time is too short.	Time Base より小さいゲートタイムを Time Base 分まで延長しました。	○	—
5	SMF Filter modified: Gate Time is too long.	16511 より大きいゲートタイムを 16511 に短縮しました。	○	—
6	SMF Filter added: Note On has no corresponding Note Off.	ノートオンに対応するノートオフがありません。データの最終位置にノートオフを追加しました。	○	—
7	SMF Filter deleted: Note number is out of range on drum channel.	ドラムチャンネルで範囲外のノート(0-23, 85-127)を削除しました。	○	—
8	SMF Filter deleted: Notes are overlapped on drum channel.	ドラムチャンネルの同キーで重複したノート、Channel Reserve 値を超えたノートを削除しました。	○	—
9	SMF Filter deleted: Note number is out of range on normal channel.	ノーマルチャンネルで範囲外のノート(0-12, 109-127)を削除しました。	○	—
10	SMF Filter deleted: Notes are overlapped on normal channel.	ノーマルチャンネルの同キーで重複したノートを削除しました。	○	—
11	SMF Filter deleted: Note Off has no corresponding Note On.	ノートオフに対応するノートオンがありません。ノートオフを削除しました。	○	—
12	SMF Filter deleted: After Touch (Key Pressure) is not supported.	After Touch (ポリフォニック・キー・プレッシャー)を削除しました。	○	—
13	SMF Filter modified: Pitch Bend Sensitivity is out of range.	Pitch Bend Sensitivity 値が 24 を超えたので 24 に修正しました。	○	—
14	SMF Filter deleted: Data Entry MSB is not specified for Pitch Bend Sensitivity.	Pitch Bend Sensitivity の設定に関係ない Data Entry MSB を削除しました。	○	—
15	SMF Filter deleted: Data Entry LSB is not specified for Pitch Bend Sensitivity.	Pitch Bend Sensitivity の設定に関係ない Data Entry LSB を削除しました。	○	—
16	SMF Filter deleted: NRPN LSB is not supported.	NRPN LSB を削除しました。	○	—
17	SMF Filter deleted: NRPN MSB is not supported.	NRPN MSB を削除しました。	○	—
18	SMF Filter deleted: RPN LSB must be 0.	Pitch Bend Sensitivity の設定に関係ない RPN LSB を削除しました。	○	—
19	SMF Filter deleted: RPN MSB must be 0.	Pitch Bend Sensitivity の設定に関係ない RPN MSB を削除しました。	○	—
20	SMF Filter deleted: Channel Reserve is specified more than once.	ひとつのチャンネルで Channel Reserve が複数回指定されました。2回目以降の Channel Reserve を削除しました。	○	—
21	SMF Filter deleted: Control Change is not supported.	無効なコントロールチェンジを削除しました。	○	—
22	SMF Filter deleted: Same Program Change is repeated on normal channel.	ひとつのノーマルチャンネルで同じ Program Change が重複指定されました。重複指定された Program Change を削除しました。	○	—
23	SMF Filter deleted: After Touch (Channel Pressure) is not supported.	After Touch (、チャンネル・プレッシャー)を削除しました。	○	—
24	SMF Filter deleted: Pitch Bend is not supported on drum channel.	ドラムチャンネルで Pitch Bend を削除しました。	○	—

No.	画面表示	内容	メッセージ ボックス	ダイアログ ボックス
25	SMF Filter deleted: System Exclusive Message is not supported.	システムエクスクルーシブメッセージを削除しました。	○	—
26	SMF Filter added: Channel Reserve is not specified.	Channel Reserve の指定がないチャンネルに Channel Reserve を追加しました。	○	—
27	SMF Filter modified: Channel Reserve is not equal to the number of assigned tones.	チャンネルで使用する音色数と指定された Channel Reserve 値が違います。Channel Reserve 値を修正しました。	○	—
28	SMF Filter deleted: START is specified more than once.	キューポイント"START"が複数回指定されました。2 回目以降の"START"は削除しました。	○	—
29	SMF Filter deleted: STOP is specified more than once.	キューポイント"STOP"が複数回指定されました。2 回目以降の"START"は削除しました。	○	—
30	Converter deleted: Meta Event is not supported.	下記以外のメタイベントを削除しました。 - 0x01 (Text) - 0x02 (Copyright) - 0x07 (Cue Point) - 0x2F (End of Track) - 0x51 (テンポ) - 0x58 (拍子)	○	—
31	SMF Filter deleted: Program Change has no corresponding note message.	Program Change に対応するノートがありません。Program Change を削除しました。	○	—
32	SMF Filter modified: Assigned Normal note count exceeded the Channel Reserve.	チャンネルの同時発音数と指定された Channel Reserve 値が違います。Channel Reserve 値を修正しました。	○	—
33	SMF Filter modified: Program Change is specified in between Note On and Note Off on normal channel.	ノーマルチャンネルでノート発音中に Program Change が指定されました。Program Change のノートオン指定位置で発音中の音色をノートオフしました。	○	—
34	Close currently opened SMF?	開いている SMF を閉じる場合に表示されます。	—	○

4.5. エラーメッセージ

No.	画面表示	内容	エラー コード	メッセージ ボックス	ダイアログ ボックス
1	Only one file can be opened at a time.	1度に複数ファイルを入力できません。 1ファイルのみ開きます。	—	—	○
2	Extension is not ".mid"/".mmf".	入力ファイルの拡張子が".mid"または".mmf"ではありません。	—	—	○
3	Can not find DLL.	SSD.exeと同じディレクトリに必要なDLLが見つかりません。 再インストールしてください。	—	○	○
4	DLL is invalid.	不正なDLLです。DLLの関数が見つからない、DLLの関数に渡す引数が不正です。 古いバージョンのDLLの可能性があり ます。 再インストールしてください。	—	○	○
5	Can not open SsdDefMA3_16.vm3 file.	音色ファイル(SsdDefMA3_16.vm3)を開く ことができません。	—	○	—
6	SsdDefMA3_16.vm3 file is invalid.	不正な音色ファイル (SsdDefMA3_16.vm3)です。	—	○	—
7	Can not open SsdDefMA2.vma file.	音色ファイル (SsdDefMA2.vma) を開くこ とができません。	—	○	—
8	SsdDefMA2.vma file is invalid.	不正な音色ファイル (SsdDefMA2.vma) です。	—	○	—
9	Input file is not SMF.	入力ファイルが SMF ではありません。 SMF のヘッダチャンク ID、トラックチャンク ID が不正です。	—	○	—
10	SMF is invalid.	不正な SMF です。 SMF のファイルサイズ、ヘッダチャンクサイ ズ、トラックチャンクサイズが不正です。	—	○	—
11	Format of SMF is not supported.	未対応の SMF フォーマットです。 SMF フォーマット 0、フォーマット 1 を入力し てください。	—	○	—

No.	画面表示	内容	エラーコード	メッセージボックス	ダイアログボックス
12	No note message in SMF.	SMF にノートメッセージがありません。	—	○	—
13	Tempo of SMF is not supported.	未対応の SMF のテンポです。時間管理がタイムコード形式の SMF には対応していません。	—	○	—
14	Input file is not SMAF file.	入力ファイルが SMAF ファイルではありません。	—	○	—
15	SMAF file is invalid.	不正な SMAF ファイルです。	—	○	—
16	Contents Class of SMAF file is not supported.	未対応の SMAF コンテンツクラスです。	—	○	—
17	Contents Type of SMAF file is not supported.	未対応の SMAF コンテンツタイプです。	—	○	—
18	Mono mode is used and the maximum number of simultaneous notes is exceeded.	Mono On で最大同時発音数を超過しました。詳細については、コンテンツ制作ガイドラインを参照してください。	—	○	—
19	Max Event Density must be under 1000byte/s.	最大イベント密度が制限(1000Byte/s)を超過しました。詳細については、コンテンツ制作ガイドラインを参照してください。	—	○	—
20	Average Event Density must be under 500 byte/s.	平均イベント密度が制限(500Byte/s)を超えました。詳細については、コンテンツ制作ガイドラインを参照してください。	—	○	—
21	Can not assign voices. The Number of voices must be under 128.	使用音色数が制限(128 音色)を超過しました。	—	○	—
22	RAM size overflow.	使用 RAM サイズが制限を超過しました。詳細については、コンテンツ制作ガイドラインを参照してください。	—	○	—
23	Inadequate SMAF file playtime.	SMAF ファイルの再生時間が範囲外(20m sec. 以下、または 2,000,000msec. 以上)です。	—	○	—
24	Can not convert SMF to SMAF. Convert Error='エラーコード'	バッファオーバーフローが発生しました。SMF ファイルのサイズが大きすぎて変換できない可能性があります。	0xF1001112 0xF1001216 0xF1001412 0x31000101 0x31000105 0x31000201 0x31000205 0x51000101 0x51000105 0x51000201 0x51000205	○	—
		内部エラーです。SMAF 変換に失敗しました。アプリケーションを再起動してください。	0xF1F00003 0x31000103 0x31000203 0x51000103 0x51000203	○	—
		内部エラーです。ファイル生成に失敗しました。アプリケーションを再起動してください。	0x31000100 0x31000200 0x51000100 0x51000200	○	—
		SMAF に変換できません。 対応していないフォーマットです。	0x31000102 0x31000202 0x51000102 0x51000202	○	—
		SMAF に変換できません。未定義のイベントです。	0x31000104 0x31000204 0x51000104 0x51000204	○	—
25	Can not play file. Player Error='エラーコード'	SMAF ファイルを再生できません。アプリケーションを再起動してください。	0xF1001501 0xF1001503 0xF1001505	○	—
26	Not enough Memory.	メモリの確保に失敗しました。システムのメモリを増やしてください。	—	○	—
27	MidiCh n: Control Change is not supported.	無効なコントロールチェンジが指定されました。	—	○	—
28	MidiCh n: Can not assign a normal tone.	音色登録数が 16 を超過しました。ノーマルチャンネルの Program Change 数を減らしてください。	—	○	—

No.	画面表示	内容	エラーコード	メッセージボックス	ダイアログボックス
29	MidiCh n: Can not assign a drum tone.	音色登録数が 16 を超えました。ドラムチャンネルのノート数を減らしてください。	—	○	—
30	MidiCh n: Channel Reserve is not specified.	Channel Reserve が指定されていません。	—	○	—
31	MidiCh n: Program Change is not specified.	Program Change が設定されていません。	—	○	—
32	MidiCh n: Data Entry is out of range.	Data Entry で指定できる Pitch Bend Sensitivity の範囲は 0-24 です。	—	○	—
33	MidiCh n: Pitch Bend is not supported on drum channel.	ドラムチャンネルでは Pitch Bend を使用できません。	—	○	—
34	MidiCh n: After Touch is not supported.	After Touch(ポリフォニック・キー・プレッシャー、チャンネル・プレッシャー)は使用できません。	—	○	—
35	MidiCh n: Program Change is specified incorrectly on drum channel.	ドラムチャンネルでは曲中の Program Change、複数の Program Change を指定できません。	—	○	—
36	MidiCh n: Bank Select MSB is specified incorrectly on drum channel.	ドラムチャンネルでは最初のノートオン以降に Bank Select MSB を指定できません。	—	○	—
37	MidiCh n: Bank Select LSB is specified incorrectly on drum channel.	ドラムチャンネルでは最初のノートオン以降に Bank Select LSB を指定できません。	—	○	—
38	MidiCh n: Channel Reserve is specified more than once.	ひとつのチャンネルに複数の Channel Reserve を指定できません。	—	○	—
39	MidiCh n: Channel Reserve is not equal to the number of assigned drum tones.	ドラムチャンネルの音色登録数と Channel Reserve 値が違います。	—	○	—
40	MidiCh n: RPN LSB is not specified.	RPN LSB = 0 を指定してから、Data Entry MSB を指定してください。	—	○	—
41	MidiCh n: RPN MSB is not specified.	RPN MSB = 0 を指定してから、Data Entry MSB を指定してください。	—	○	—
42	MidiCh n: RPN LSB must be 0.	RPN LSB で設定できるのは 0x00 (Pitch Bend Sensitivity)のみです。	—	○	—
43	MidiCh n: RPN MSB must be 0.	RPN MSB で設定できるのは 0x00 (Pitch Bend Sensitivity)のみです。	—	○	—
44	MidiCh n: Program Change is specified incorrectly on normal channel.	ノーマルチャンネルでは最初のノートオン以降の Program Change、ノート発音中の Program Change を指定できません。	—	○	—
45	MidiCh n: Gate Time is 0.	ノートのゲートタイムが 0 です。	—	○	—
46	MidiCh n: Gate Time is too long.	ノートのゲートタイムが 66.044 秒を越えました。	—	○	—
47	MidiCh n: Notes are overlapped.	同チャンネルで同キーのノートが重複しています。	—	○	—
48	MidiCh n: Assigned note count exceeded the Channel Reserve.	ノートをチャンネルに割り当てることができません。ノートを削除するか、Channel Reserve 値を設定しなおしてください。	—	○	—
49	MidiCh n: Note number is out of range on normal channel.	ノーマルチャンネルではノートナンバー13～108 のノートを使ってください。	—	○	—
50	MidiCh n: Note number is out of range on drum channel.	ドラムチャンネルではノートナンバー24～84 のノートを使ってください。	—	○	—
51	START / STOP is specified incorrectly.	キューポイント"START"はキューポイント"STOP"より前に指定してください。	—	○	—
52	Note On has no corresponding Note Off.	ノートオンに対応するノートオフが見つかりませんでした。	—	○	—
53	ファイルパス File Access Error.	指定されたファイルにアクセスできません。	—	—	○
54	Can not assign tones. Channel Reserve must be under 17.	Channel Reserve が 16 以下の音色を使ってください。	—	○	—

4.6. 通知メッセージ

No.	画面表示	内容	メッセージ ボックス	ダイアログ ボックス
1	Contents Information updated with SMF META Events.	入力した SMF のメタイベントによってコンテンツ情報が上 書きされました。	○	—

4.7. ショートカットキー

キー	動作
[Ctrl+O]	「ファイルを開く」ダイアログを開きます
[Ctrl+S]	SMAF ファイルに上書き保存します。
[Ctrl+A]	「名前をつけてファイルを保存」ダイアログを開きます。
[Alt+F4]	アプリケーションを終了します。